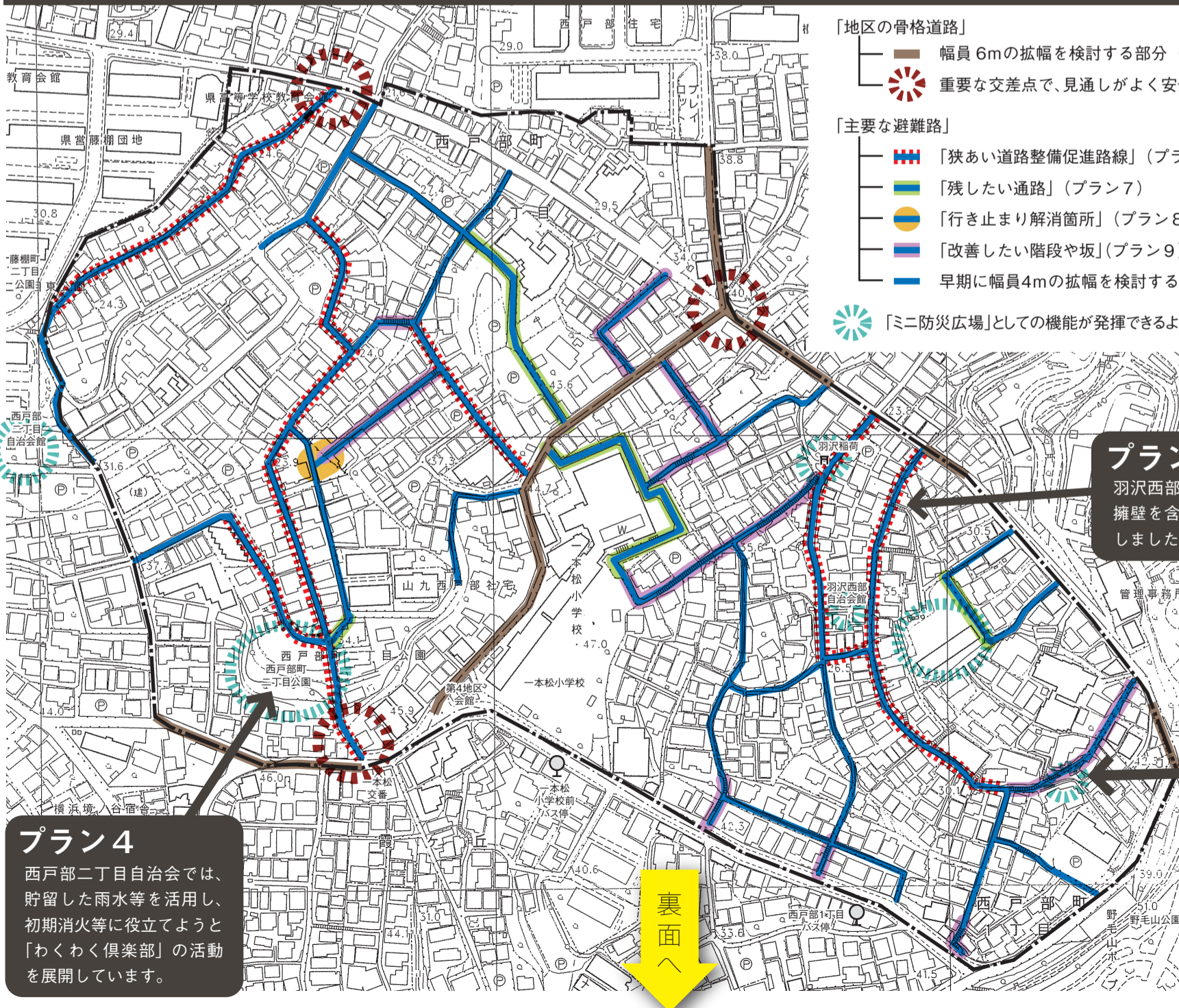


- 一本松まちづくり協議会の区域
- 幅員 6m以上の道路
- 幅員 4m以上 6m未満の道路
- 幅員 4m未満の道路
- 広域避難場所 (野毛山公園)
- 地域防災拠点 (一本松小学校)
- 公園、自治会館など
- 等高線 (2m間隔)
- 主な階段
- 避難場所など入り口
- 初期消火箱
- 消火栓
- 防火水槽

※横浜市の行政地図情報「i-マップ」、「道路台帳」、「わいわい防災マップ」などより作成
 ※経年変化などにより、現況と異なる可能性があります。
 詳しい情報を知りたい方は、市の「建築・宅地指導センター」にご相談ください。



※この「改善のための方針図」には、現時点で場所が図示できるものだけを示しています。



- 「地区の骨格道路」
 - 幅員 6mの拡幅を検討する部分 (プラン5)
 - 重要な交差点で、見通しがよく安全にしたい場所 (プラン5)
- 「主要な避難路」
 - 「狭い道路整備促進路線」(プラン6)
 - 「残したい通路」(プラン7)
 - 「行き止まり解消箇所」(プラン8)
 - 「改善したい階段や坂」(プラン9)
 - 早期に幅員4mの拡幅を検討する部分
- 「ミニ防災広場」としての機能が発揮できるように整備・改善したい場所 (プラン12)

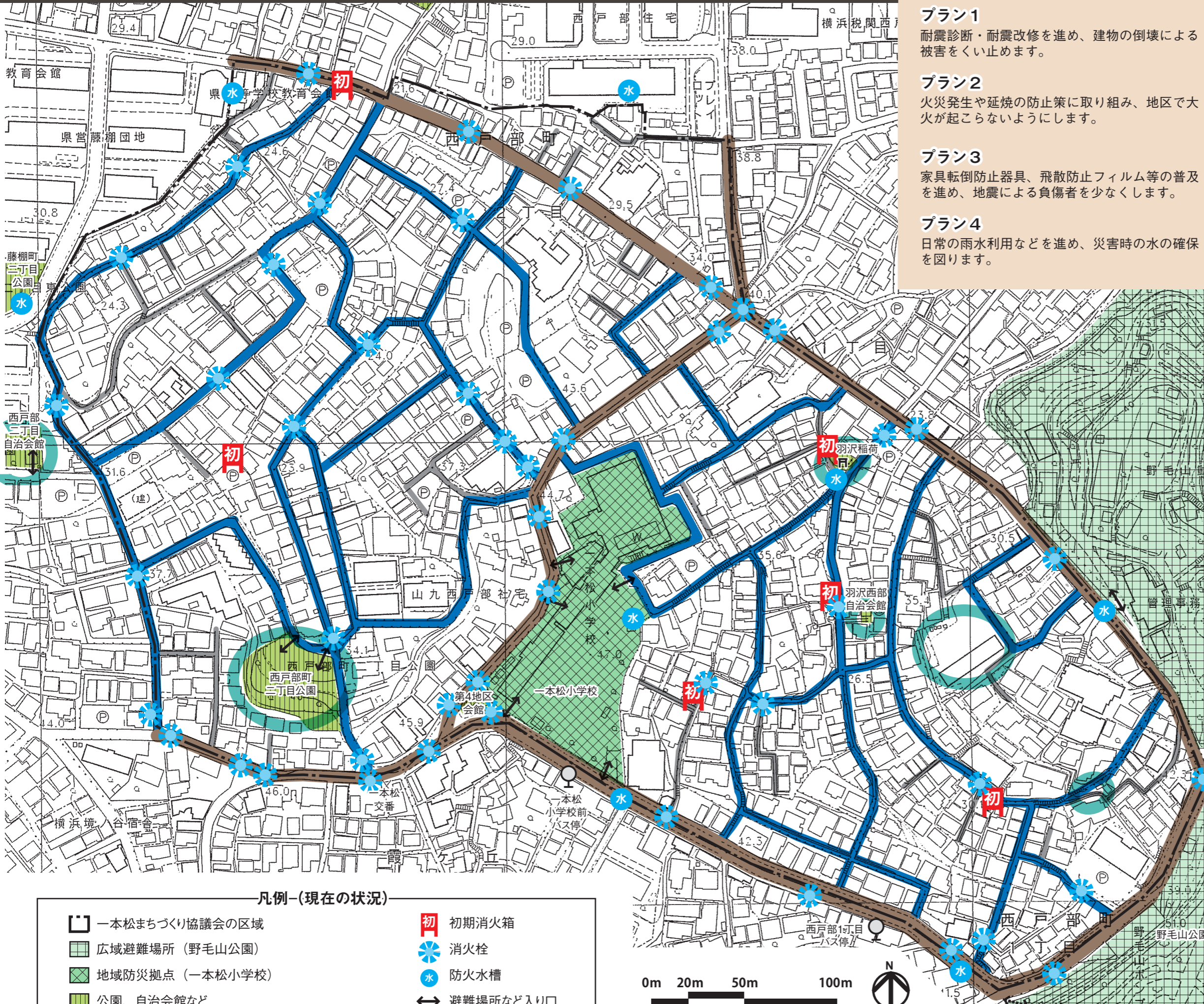
プラン6
 羽沢西部自治会の呼びかけで、狭い道路の擁壁を含めた整備について個別相談会を開催しました。

プラン12
 荒れていた三角地の整地を行い、いざというときに「ミニ防災広場」として活用できそうな場所が生まれています。

プラン4
 西戸部二丁目自治会では、貯留した雨水等を活用し、初期消火等に役立てようと「わくわく倶楽部」の活動を展開しています。

裏面





プラン1

耐震診断・耐震改修を進め、建物の倒壊による被害をくい止めます。

プラン2

火災発生や延焼の防止策に取り組み、地区で大火が起こらないようにします。

プラン3

家具転倒防止器具、飛散防止フィルム等の普及を進め、地震による負傷者を少なくします。

プラン4

日常の雨水利用などを進め、災害時の水の確保を図ります。

「地区の骨格道路」

プラン5

「地区の骨格道路」は、災害時・日常ともに地区外との重要な連絡経路として、安全性を高めます。

「主要な避難路」

プラン6

「狭あい道路整備促進路線」は、路線ごとに沿道の方の理解を得ながら、4mへの拡幅整備を優先的に進めていきます。

プラン7

「残したい通路」の合意形成を図って協定を結び、地域で維持・管理することで、多様な避難ルートを確認します。

プラン8

「行き止まり解消箇所」の通り抜け整備など進め、多様な避難ルートを確認します。

プラン9

「改善したい階段や坂」の整備を進め、緊急車両などもスムーズに通行できるようにします。

プラン10

一人一人が安全な避難ルートの確保に努めます。

幅員4mの道路

まち・こころづくりのプラン

プラン11

日常の防災意識を高めます。

「ミニ防災広場」の候補地

プラン12

「ミニ防災広場」として各自治会内にバランスよく小広場等を確保していきます。

プラン13

避難・復興の運営体制を整え、円滑な災害復興ができるようにしておきます。

プラン14

災害時の要援護者（病気・ケガをしている人、高齢者など）の支援体制を整えておきます。

プラン15

地域のいえづくりのルール、みちづくりのルールをつくります。

凡例(現在の状況)

- 一本松まちづくり協議会の区域
- 広域避難場所(野毛山公園)
- 地域防災拠点(一本松小学校)
- 公園、自治会館など
- 初期消火箱
- 消火栓
- 防火水槽
- 避難場所など入り口

0m 20m 50m 100m

